

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	02050316	区分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	身体障害者医療費支給事業	担当部署名	住民課		
		作成責任者職氏名	課長 池西 昌夫	内線	310
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	02健康・福祉	05障がい者福祉の推進	03地域生活支援サービスの提供		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和48年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等	
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	身体障害者及び知的障害者の助成に関する条例	義務付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>身体障害者(児)及び知的障害者(児)の福祉の増進を図り、その健康の保持及び生活安定に寄与する。</p> <p>②内容</p> <p>身体障害者(児)及び知的障害者(児)に医療費の一部を助成する。</p>	<p>65歳未満で、健康保険に加入している人(所得制限あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳1級または2級の人 ・重度知的障害者・中度知的障害者で身体障害者手帳を持っている人
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>身体障害者(児)及び知的障害者(児)に医療費の一部を助成することにより、必要な医療を容易に受けることができ、疾病の治癒、早期回復や対象者及びその家族の精神的負担を軽減し、健康保持及び生活の安定を確保する上で効果がある。</p>	

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	7,254	10,018	5,615	7,602	7,602			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金	3,754	4,991	3,042	3,786	3,786		
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
その他の特財								
一般財源	3,500	5,027	2,573	3,816	3,816			
人件費								
一般職員所要人員(人)(B)	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03			
一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	166	177	177	177	177			
総コスト費(千円)(A+C)	7,420	10,195	5,792	7,779	7,779			
人口あたりコスト(円)	1,204	1,654	940	1,262	1,262			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 0 = #DIV/0! (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	障がい者医療制度については、65歳未満の重度障がい者などに対し、医療機関の受診時の医療費の一部負担分の一部を助成し、受益者負担の軽減を図り、健康の保持及び福祉の増進を図る。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	障がい者の医療費の一部負担分の一部を助成することで、受益者負担の軽減を図り、健康の保持及び福祉の増進を図る効果がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	府内での医療機関の受診の場合は、医療証を提示することで現物給付。 府外受診は、村に申請のうえ、後日償還払い。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	助成対象者には全て公平

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	14 / 16	88%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
#DIV/0!	88%	#DIV/0!	#DIV/0!
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
身体障害者の健康維持・増進のため継続して実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
/	/ A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
身体障害者の健康維持・増進のため継続して実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止